

2026 年度北海道地域学術大会 一般演題 発表抄録

発表者氏名	北海 太郎
発表者所属施設・ 部署名	1) 北海道病院・放射線部
演題名	MRI 検査における事前確認票の導入が診療放射線技師の業務効率に与える効果
共同演者氏名	北海次郎 2) 北海三郎 3) 北海四郎 1) 北海五郎 4) 北海花子 5)
共同演者施設・ 部署名	2) 札幌病院 放射線部 3) 旭川病院 診療技術部 4) 函館医院 放射線科 5) 釧路医療センター 放射線部
メールアドレス	〇〇〇@〇〇〇.〇〇〇.jp
抄録要旨	【背景・目的】 MRI 検査では、体内金属や手術歴などの確認に時間を要し、検査開始の遅延や診療放射線技師の時間外勤務が課題となっていた。そこで、予約時に必要な情報を共有できる事前確認票を導入し、業務改善効果を検討した。 【方法】 従来運用期間と導入後各 3 カ月間を対象とし、検査開始遅延率、検査当日の問い合わせ件数、技師の月平均時間外勤務時間を比較した。確認票には手術歴、植込み型医療機器、閉所恐怖症および介助の必要性を記載し、予約担当者と MRI 担当技師が共有した。 【結果】 検査開始遅延率は 14.2%から 5.1%、月平均問い合わせ件数は 38 件から 17 件、技師の時間外勤務時間は 21.4 時間から 12.1 時間へ減少した。また、対応が必要な患者を事前に把握でき、検査室内の役割分担も円滑となった。 【結論】 事前確認票による情報共有は、検査当日の確認業務と待ち時間を削減し、診療放射線技師の業務負担軽減に有用であった。